

各部局からの報告事項

平成 28 年 4 月 17 日現在

【防災対策部】

○ 物資等の対応について

4/17 20:00 に物資隊第 1 便として県職員 4 名が県庁備蓄のアルファ化米 3,400 食分を積み、現地に出発。4/18 16:00 には物資隊第 2 便として県庁、地方部備蓄分 10,000 食分、市町から提供の 85,000 食分の計 95,000 食分を県トラック協会の協力を得て搬送し、その後、県職員 4 名は先遣隊として現地調査を行なう予定。

【戦略企画部】

○ 県職員の義援金募集について

県職員組合との協議が整い、連名で本日から 4/28 まで県職員に募集する。

【健康福祉部】

○ DMAT、DPAT等の活動状況について

DPATは、4/18 から 1 週間の予定で三重県から 2 隊（三重県立こころの医療センター、国立病院機構榊原病院）派遣。DMAT（東海・北陸ブロック）は、要請を受けて待機中。

○ 県民への義援金募集の呼びかけについて

県独自の義援金口座は設けず、全国的に募集が行われている日本赤十字社と中央共同募金会の義援金募集を県民へ呼びかける。各県庁舎に募金箱を設置予定。

【環境生活部】

○ 市町における給水支援の状況について

日本水道協会の要請を受け、津市から給水車 1 台、応援要員 2 人を熊本県へ派遣、4/18 昼 12 時から給水活動を行う予定。

○ 災害ボランティアの対応について

みえボランティア支援センターとしては、現地の状況を勘案し、HP、facebook での自粛案内を行っている。今後、三重県社会福祉協議会等と密に連携しながら、情報収集・発信に努める。アスト津で募金箱を設置。

【雇用経済部】

○ 県内企業への影響について

経済関係団体へ確認したところ、特に影響はないとのこと。自動車関連をはじめとする大手企業に関し、影響等について情報収集中。

【県土整備部】

○ 被災建築物応急危険度判定の支援について

「地震被災建築物応急危険度判定士」の派遣要請が全国被災建築物応急危険度判定協議会近畿ブロックに入った。三重県への派遣要請があれば、県職員のほか特定行政庁（桑名市、四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市）、関係団体（建築士会、建築士事務所協会、建築家協会）から派遣予定。